

公募要領

1. 業務名 : 「Tokyo Tech OPen innovation」業務委託

2. 本イベントの目的・趣旨:

東京工業大学（以下、「本学」という）オープンイノベーション機構（以下、「OI 機構」という。）は、エネルギー分野、材料分野、及び注力して取り組む機械分野、バイオ分野を中心に、大型の協働研究拠点の研究領域の拡大、研究拠点数の増加を図り、大型共同研究の活性化に取り組んでいる。

また、本学のイノベーションデザイン機構（以下、「Id 機構」という）は東工大発ベンチャーの育成・創出・支援や、スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアムの一員として、拠点の形成と発展に資する活動に取り組んでいる。

Tokyo Tech OPen innovation（以下「本イベント」）はOI 機構、Id 機構がエコシステムをテーマに、共催のイベントを開催することで、本学を中心とする最高峰のエコシステムを世界にアピールし、以下の目的を達成するために実施するものである。

- ・ OI 機構の活動がオープンイノベーションの成功例の一つであることを世界にアピールすること
- ・ 大規模の共同研究に対する体制整備ができていることをアピールし、共同研究の拡大につなげる
- ・ 「東京」に研究拠点を形成し得ることをアピールし、国際協働研究拠点としての本学の価値を高めること
- ・ 本学がプラットフォームとなって、大学の研究・人的資源の社会への実装を推進すること
- ・ 起業を目指す者に対して教育・啓蒙の機会を創出し、学内外に起業家精神を涵養すること。

3. 業務委託内容:

本イベントにかかる企画、事前の連絡調整、当日の運営及び事後のフォローアップ等。詳細は、別紙の仕様書を参照のこと。

4. イベントの日時、開催形態

日時: (1日目) 2022年11月10日(木) 13:00~18:00
(2日目) 2022年11月11日(金) 10:00~18:40

開催形態：オンラインプラットフォーム及びリアル会場での配信によるハイブリッド
リアル会場：東京工業大学 田町キャンパス
キャンパス・イノベーションセンター 2階

5. 予算額：700万円（税込）

6. 本件に参加する者に必要な資格及び要件等

- (1) 契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者でないこと。
- (2) 国立大学法人東京工業大学から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

7. 会場見学・説明会

本学の事業内容を理解した上でのご提案をしていただくために、下記の日程で実施会場
見学及び説明会を設けますので、提案の参考としてください。

日時：2022年5月25日（水）15：00～16：00

場所：東京工業大学 田町キャンパス キャンパス・イノベーションセンター 2階

※ご希望の方は、2022年5月24日（火）までにメールにて事前連絡の上、直接会場までお越しください。

※ 会場は自由に撮影できますので、必要に応じてカメラをお持ちください。

8. 提出書類及び提出方法、提出期限

(1) 提出書類

- ① 提案書（仕様書及び後述の要素を含むものを作成すること）
- ② イベント当日までの工程表
- ③ 実施体制
- ④ 会社概要
- ⑤ 過去実施したイベント等の実績が分かる資料

※過去ハイブリッドで開催した会議の実績があるならば、それを示すこと。

⑥ 見積書

※予算額を参考に明細がわかるように見積書に明記すること

⑦ 誓約書（本学指定様式）

(<http://www.zaimu.titech.ac.jp/keiyaku/kihonhousin/onegaikanren.html>)

※提出書類の製作及び提出にかかる経費は、提案者の負担とする

※提出された書類の返却は行わない

※1者1提案のみとする

(2) 提出方法

下記13.の送付先まで上記8.(1)の提出書類を各6部及び電子媒体で提出すること。

なお、送付の場合は、予め送付の旨をメールにて連絡の上、必ず簡易書留、宅配便等配達記録が残る形で送付すること。

(3) 提出期限

2022年6月3日(金)12時必着

9. 審査方法

(1) コンペティション審査

審査日時：2022年6月9日(木)15:00~17:00

2022年6月10日(金)10:00~12:00

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 学術国際情報センター104会議室

※上記のうち、1社30分程度。

具体的な時間、場所については参加者に別途連絡する。

コンペティション審査は上記8.において提出した資料に基づき、プレゼンテーションを行うこと。配布後の資料の差し替え及び再提出は認めない。

審査は、申請者からのプレゼンテーション15分及び質疑応答15分の計30分程度のヒアリングを実施する。

上記8.(1)①の提案書には、必ず以下の要素をすべて含むこと。

-1. イベントの企画内容に関する事柄

a. 仕様書中のプログラム案に対して、どのようなオンラインプラットフォームを用いて行うのがよいかの提案(2個以上)

※オンラインプラットフォームは以下の要件を満たすものを提案すること

- ・ 視聴者はプラットフォームへの参加にあたり登録を行い、登録後、プラットフォーム上で講演動画をリアルタイムで閲覧でき、かつアーカイブ配信ができるもの
- ・ 参加者の想定数は1000名程度とする
- ・ オンラインブースの出展機能を有し、かつそのブースに来訪した参加者と、その行動ログの出力ができるもの
- ・ オンラインブースの想定出展数は100件で、本学関係機関が10件程度、協賛企業が40社、東工大発ベンチャーが30社、その他20件程度の想定である。
- ・ オンラインブース上で出展者と参加者、参加者同士が交流できる機能を有すること。
- ・ オンラインプラットフォームの契約は本学が直接行うため、見積もりには計

上しないこと。

- ・ 使用料は400万円以下を目安とする。
- b. 仕様書中のピッチイベントに対して、どのように実施するかの提案

※提案は以下の要素を満たすこと

- ・ 別紙企画案のうち、視聴者がどのように質疑応答及び投票を行うのか、方法の案を示すこと。
- ・ 仕様書以外に、ピッチイベントが盛り上がる仕掛けの案がある場合は、提案すること（任意）

-2. イベント当日までの業務に関する事柄

a. 事務局の体制について

- ・ 提案者が当日までどのような体制（担当者数、指示命令系統等）で業務を行うか示すこと。

b. 広報活動について

- ・ ホームページの作成に関して、今回作成可能なもののイメージを過去の実績等を例に提案すること。また、SEO対策等、ホームページを効果的に周知し、本イベントの広報効果を高める手段を提案に含めること。
- ・ 参加者への案内について、提案者が保有するネットワークの例を示すこと。本学が参加者のターゲットとして想定しているのは以下の通りである。
 - ①企業の上級管理職、経営幹部、研究開発者等
 - ②ベンチャーキャピタルなど金融機関の投資家等
 - ③官庁の政策決定者、行政関係者等
- ・ イベント前後において、オンラインブースへのアクセス数を増やし、協賛企業にとっての広報効果を高める施策を提案に含めること。
- ・ その他、提案者が行うことのできる方法について自由に提案を行うこと。

-3. イベント当日の運営に関する事柄

a. 当日の運営体制について

- ・ イベント当日に割ける人員数、指示命令系統等が記載された運営体制の案を示すこと。

10. 審査基準

主にイベントの企画提案力、実施体制の妥当性、広報戦略の妥当性、見積もり額の妥当性について、審査委員会による書面審査及びプレゼンテーション審査を経て、交渉権者を決定する。詳細は別添審査基準のとおり。

11. 審査結果

2022年6月24日（金）までにメールにて合否について連絡する。

なお、順位及び得点についての詳細は公表しない。

12. 契約の締結

選定の結果、第1順位者と詳細仕様を決定した後、再度見積書を提出いただき、契約内容について打合せを行う。なお、契約金額については、企画提案書の内容を勘案して決定するため、提出された見積書と必ずしも一致するものではない。また、契約条件が合致しない場合には、契約締結を行わない場合がある。

契約交渉の結果、契約の相手方として決定した場合、契約書を作成するものとする。

13. 提出書類の送付先・連絡先

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 E3-11

国立大学法人東京工業大学 研究推進部産学連携課産学連携企画グループ

E-mail: san.kik@jim.titech.ac.jp

※ お問い合わせは電子メールにてお願いします。